

# KIDS SMILE LABO JOURNAL

“キッズ スマイル ラボ ジャーナル”

KIDS SMILE LABO が発行するフリーペーパー。普段 SNS でしか見られない保育園の子どもたちの様子や、子育てに関する情報等、最新情報をお届けします。

Vol.19  
**2022**  
TAKE FREE



## KIDS SMILE LABO の 1 枚。

副園長の森誉さんが選んだ、とっておきの 1 枚を紹介します！

### “一つ一つ季節が巡る”

春・夏・秋とたくさんの出会いに心動かしてきた子どもたちは今  
冬という季節に出会いその身体と心で冬を感じ、味わい、知っているところ  
冬といえばこの寒さ そしてこの寒さがもたらす自然の恵み  
それは子どもたちにとって何ごとにも代え難い出会いや体験を心の中に残していつくれる  
今日は何があるかな 明日はどうだろう  
そう心に想い、季節がもたらす身の回りの変化を待ちわびる  
意識して目を向けてみなければ出会わない世界に目を向ける  
子どもも大人も一緒に目を向ける  
弾んだ気持ちは目から心へ伝わり、仕草や言葉となって表れた想いを分かち合う  
巡る季節の中で生まれるそうした出会い・瞬間・想い・関わり  
日々は一期一会のような出会いは巡る季節の中で大切に育まれて四季を知り繋がっていく

photo & text by morimori

## 今月のおすすめ note !

かおちゃんのつれづれラボ日記

### 「子どもひとりひとりを見つめる保育」

最近よく保育現場のニュースが流れていますね。ぜひこの記事を読んで頂きたいです。

もりもりのわくわくラボ日記

### 「家族四人。」

家族が増えて待望の記事！可愛い次男くんの写真も載っていますよ～！

園長 松下かおる



副園長 森誉



続きは **note** にて →

**kidssmilelabo.com**



@kidssmilelabo

KIDS SMILE LABO

@kidssmilelabo

@KIDS\_SMILE\_LABO

# KIDS SMILE LABO CLASS NEWS

12 December

## ● DAICHI ● OOZORA

### 大山ものがたり ～4.5歳児・山頂アタック編～

集合 7:20。「だれもいな～い！」いつもと違う早朝の LABO に興奮する 4 人。ドキドキとワクワクが入り混じった気持ちでこの日を迎えました。「いってきます！」と元気な声を響かせ、LABO 初となる山頂アタック編が幕開けしました。先月頑張って歩いてゴールした阿夫利神社下社が今回のスタート地点。ロープウェイで一気にあがり、到着すると「おやまががんばるぞーってしたい」という声。円陣を組み、子どもと保育者 6 人の手と心を合わせ、気合いを入れてスタートしました。

入り口に立つと早速、高くそびえたつ階段が登場。大人でもその長さに驚く程ですが、子どもたちはひるむことなく登り始めました。みるみると高くなる景色。「あふりじんじゃよりたかいとこにいるー！」振り返ると、先程までいた神社の屋根が自分たちより低い位置に見えています。

そんな長い階段を抜けると、今度は大きな木に囲まれたゴツゴツした道が続いていきます。そして、出会ったのは『夫婦杉』。樹齢 600 年の太い幹は圧巻でした。「めっきらもっきらどーんどーんみたいだね」と、絵本の世界と重ねて楽しんでいました。他にも好きなキャラクターに似た形の石を拾ったり、大きな岩を乗り物にしたり、軍手についた土を「チョコだ～」と笑ったり。山の中はみんなの想像力の魔法で、まるでおもちゃ箱のよう。子どもたちの世界観の豊かさを感じる道のりでした。

有難いことにお天気にも恵まれ、富士見台では綺麗な富士山を見ることができ、その美しさは子どもたちを魅了していました。長い長い道のり。後半はペースも落ち、疲れも見られ始め「まだ～？」と何回も確認の声が飛び交うように。。。しかしあきらめず「あった！」と柱に書いてある数字が増えていくのを励みに進み、とうとう 2 時間 45 分かけて山頂に到着しました。最後は 4 人で手を繋ぎ同時にゴール！着いたんだという嬉しさと、安堵感が表情から静かに伝わってくるようでした。その姿にはここまでの頑張りが詰まっていた、グッと込み上げてくるものがありました。

山からの景色はまるで空の中にいるようで、遠くの街が小さく小さく見えました。

子どもたちの姿を見て、道中応援して下さった方たちが「よくきたねー」「がんばったねー」とあちこちであたたかく迎えてくれました。

楽しみにしていた、山頂でしか手に入らないバッジ獲得を喜び、待ちに待ったお弁当をホットした表情で頬張る子どもたち。

am9:20

阿夫利神社下社出発



がんばるぞー！  
エイエイオー！！

am11:35

富士見台



やったー！  
頂上到達したよ～！

am12:20

頂上到着



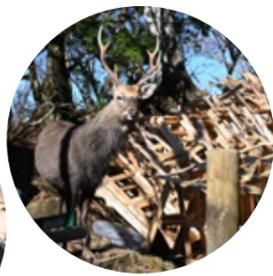
頂上で記念のバッジを  
買いました！



am13:11

下山

もう一度みんなでお弁当をあわせて  
エイエイオー！！



本物の大きなシカに  
出会いました！



am15:20

阿夫利神社下社着

しかし、ここで終了ではありません。お腹いっぱいになったところで今度は下山です。

「おやまのぼったぞー！ってまらくなりたい」という声があり、円陣を組み、気持ちを一つにして帰り道に挑みました。降りる岩場のどこに足を置いていこうかがポイントになってきます。疲れている足で降りるので、行きよりも気を引き締めなくてはいけない道のりです。大きな段差をしゃがんだり、踏ん張ったりしながら少しずつ、少しずつみんなで降りていきました。そんな中「ここすべるからきをつけてね」と、前から後ろへ声が飛んでいきました。相当疲れてきている場面で、自分のことだけでなく仲間のことを考えるその強さと優しさには胸が熱くなりました。

「ゆめみてるみたい」そんな声も何回か聞きました。誰もいない静かな森の空間にいて、1日がいっつもより長いこと、疲れもでてきていることがそんな感覚に繋がっていたのかも知れません。「いやだ」「やめたい」そんな声はなく、ひたすらに進んでいく子どもたちがいました。そして2時間かけてゴール。本当に本当に頑張りました。子どもたちはホットした気持ちと疲れとが入り混じった表情を浮かべていました。山頂アタックを通じて、子どもたちの足腰の成長はもちろんですが、心の成長、仲間の絆の強さを感じました。4人一緒だからこそ頑張れたようにも感じます。

最後までやりきった自分自身、仲間に「最高！」と大きな拍手を送ってほしいと心から思います。帽子のバッジの輝きと共に、大きな自信のバッジを堂々と心に掲げてほしいと思います。  
文ちなちゃん



入山前にお払い  
無事に帰ってこられますように。



立ちほだかるながい階段！！

KSLJ

● DAICHI  
● OZORA  
● MINAMO  
● NOBANA



1年ありがとう会  
メッセージ&クッキー作り



友だち、保育者、家族、お世話になった方々に「ありがとう」と、感謝の気持ちを伝える会。「みなそらだいち（幼児クラス）」と「のばな」はメッセージカードを作りました。  
開くタイプのメッセージカード、ぬりえメッセージカード、コースターをアートするメッセージカードの中から、子どもたちが自分の好きな物を選び、絵を描いたり、パンチを飾ったり、色を塗ったりと思いにメッセージカードを作りました。ペンを動かしながら「〇〇よろこんでくれるかな」やパンチを選ぶときには「この色が好きだから...」と相手のことを思いながら、真剣な眼差しでカードを作る姿が印象的でした。カードを渡したい友だちや保育者が傍に居る時には、小さい声で会話する姿も可愛らしかったです。子どもたちからの「ありがとう」「ThankYou」のあたたかいメッセージが届いたでしょうか。



23日は1年ありがとう会の日当日。「みなそらだいち（幼児クラス）」のみみんなでクッキーを作りました。調理さんが準備してくれたクッキー生地を飛行機、車、ハート、などたくさんの種類がある型から自分の好きな型を選び、たくさん抜いていきました。「赤ちゃんが食べられるように小さいのにしよう」「〇〇くんは恐竜が好きだから...」と相手のことを思いながら、真剣な表情。3階のレストランのオープンでクッキーを焼いてもらい、「いい匂い〜」「美味しそう」と嬉しそうな表情。自分たちが作ったクッキーを2343レストランと日比野設計事務所の方にメッセージカードと共に渡しました。ときどきしながら「いつもありがとう」を伝えると「ありがとう」と返事が返ってきて、自然とみんなが笑顔になりました。また、自分が抜いたクッキーを給食の時間に食べ、ラボのみんなにも食べてもらい、また笑顔。感謝の気持ちを伝えることであたたかい気持ちとなり、素敵な日になりました。文さっどん

● NOBANA

わたしたちの手と足

気温がぐっと下がり、寒い日に、絵の具遊びをしました。しばらくしていなかった絵の具あそびに子どもたちも「やりたい!」「この色がいい!」と筆を持ちながら、乳児室へと心躍らせながらやってきました。絵の具の色は赤、黄、青、白の4色。最初はトイレトペーパーの芯、ペットボトルキャップ、葉っぱなどの素材でスタンプあそびをしました。大きい丸、小さい丸と大きさの違いを感じたり、自然の葉っぱに絵の具をつけ、葉っぱの模様や形をよく観察したりする姿がありました。また、保育者が手のひら、足の裏と絵の具をつけ、紙に「ペタペタ」と手のひらを「パー」に付けたり、指で線を書いたり、「ドンドン」と足踏みをしたり、リズムに合わせて「ジャンプ」したりなど、活動を遊び込んでいると自然と子どもたちも自分の手のひら、足の裏に絵の具をつけ、紙の上をあちらこちらへとアートしていきました。からだ全身で絵の具遊びを楽しむことで、自然と笑顔があふれ、心豊かな気持ちとなりました。子どもの遊びの姿を受け止めつつ、大人が思いきり活動を楽しむことで、子どもたちも一緒に楽しむことができたと感じました。絵の具あそびだけでなく、ごっこあそびでも役になりきったりと、どの活動も大人と一緒に楽しむことで子どもの心を惹きつける力がありますね。  
文さっどん



## SOYOKAZE



## わくわくいっぱいみつけた！

新しい場所や久しぶりの場所に沢山訪れた 12 月。中でも子どもたちの心を釘付けにし、笑顔がたくさん溢れていたのが、『駅の飲食店街を通り、バスターミナル上の広場から地下道へ下りて散策』をするコース。

まず最初に駅の飲食店街を入るとすぐにガチャガチャがあり、全員が目キラキラとさせ見入っていました。(あづあづとあややお金がないんだ。と話すと、「そっか」とやりたい気持ちをグッと抑える姿もありました笑) そこから奥へ進んでいくと、あゆこちゃんの銅像があり、みんなでなでなで。その先にはセブンイレブンがあり、見つけると「ママとパパといったの。」「おかしかったよ。」と教えてくれます。

バスターミナル上の広場は、上階に行くためにエレベーターに乗るのですが、このエレベーターはなんと外が見える透明エレベーター！遊園地のアトラクションに乗っているかのような気分です。

広場中央には相模川に住む生き物のイラストが描かれていて、「カニいる！」「おさかな泳いでるね」と話したり、赤い電話ボックスを見つけて、「これ、なんだ？」と興味津々で覗き込んで見ている姿がありました。

そしてもう一度エレベーターに乗り、今度は地下道へ。透明エレベーターから見える景色が今度は一転。土の中に潜っていく気分はもぐらに変身したかのようにちょっぴりドキドキしながら到着しました。

地下道には大きな絵画があったり、沢山の写真が飾られていたり、「あー！」と大きな声を出して声が響くことを楽しむ子どもたちで、人通りが少ないので自由に歩くことができ、それぞれのペースで楽しむことができるのもこの場所の魅力です。

新しい場所との出会いに胸を高鳴らせワクワクドキドキと探索を楽しんだこの散歩道。ぐるっと周るとそれなりに歩く距離があるのですが、みんな最後までしっかり歩き切ることができ、とても驚きました。きっと疲れよりも刺激がたっぷりだったのでしょうね！ 文 あづあづ

## KOMOREBI



## ともだちの芽

こもれびの子どもたちって面白いな、すごいと感じた 12 月。歩き出した子は 1 歩 2 歩までだった足取りが 5、6、7... とこの数日で増えてきました。歩きながら向ける笑顔は「嬉しいな」と伝えてくれているかのようです。

ある子は「〇〇くんはどこ？」と尋ねてみると視線を送ってみたり指をさして教えてくれたり。着ている上着や靴下も分かっているお届けしてくれる姿も出てきました。

お昼寝明けの時間に友達をトントンとして「起きてよ」としてみたり、泣いている子の頭を撫でてみたり。

相手を意識して関わろうとする姿が多くみられます。

保育園の中では一番小さいけれど、日々の中で着実に多くのことを吸収して成長の芽をぐんぐんと伸ばし育てていることがわかります。

喃語が飛び交う空間にいると「ああこの子たちは気持ちを伝えたくってたまらないんだ」と嬉しい気持ちになりますし、友達がしていることを真似てやってみようとする子の視線に注目するととても相手のことを見ていることもわかります。

大人の言葉でいう「友達」という感覚が子どもたちの中に芽を出し始めていることをしっかりと感じます。

喃語や単語、表情に仕草でのやりとりがますます増えていき賑やかになっていきそうです。文 もりもり

KIDS  
SMILE LABO  
KITCHEN

Vol. 09

## 調味料に頼らない味付け

KIDS SMILE LABO KITCHEN

保育園KIDS SMILE LABOで毎日子どもたちに提供している給食は厚木で育った旬の野菜、無添加調味料を使用して安心安全に、そして見て美しい食べて美味しい給食を2343FOODLABO監修のもと、調理をしています。



KSL kitchens では拘りの調味料を使用していますが、それでも調味料を使わないに越したことはありません。日々どうしたら調味料を減らすことができるか、試行錯誤しています。そして最近、洋風のスープやカレーには『ソフリット』(イタリア料理の隠し味)と呼ばれるものを作り、できるだけ調味料に頼らない工夫をしています。『ソフリット』はオリーブオイルで玉ねぎや人参、にんにく、セロリをじっくりと炒めて作るものです。LABO では、セロリとにんにくは使わず、玉ねぎと人参をブレンダー等で細かく刻み、オリーブオイルで 30 分~1 時間じっくり炒めたものを『ソフリット』と呼んでいます。ソフリットは旨味がたっぷりな上にそのままスープの具材にもなります。ソフリットだけですと少し物足りないので、キャベツや大根などの具材をたして、味付けは塩麹や塩のみでも、美味しいスープが出来上がります。今まで、いわゆる『コンソメ』を使っていた場面でソフリットは活躍してくれます。気になる方は是非『ソフリット』調べてみてくださいね。手間増えますが、調味料に頼らず野菜の旨味がたっぷり溶け出した料理になるので、濃い味付けしか食べなくなってしまった子どもたちにもオススメです。

文 やっちゃん

